

令和8年度 国民スポーツ大会

代表選手選考に関する基準

令和8年6月10日

目 次		
No.	競技団体名	頁
1-1	(一社) 佐賀県水泳連盟 (競泳・OWS)	1
1-2	(一社) 佐賀県水泳連盟 (水球)	1
1-3	(一社) 佐賀県水泳連盟 (飛込)	2
2	佐賀県ローイング協会	2
3	特定非営利活動法人 SAGA SAILING	3
4	(一財) 佐賀陸上競技協会	3
5	(一社) 佐賀県サッカー協会	4
6	佐賀県テニス協会	5
7	佐賀県ホッケー協会	5
8	佐賀県バレーボール協会	6
9	佐賀県体操協会	6
10	(一社) 佐賀県バスケットボール協会	7
11	佐賀県レスリング協会	8
12	佐賀県ウエイトリフティング協会	8
13	佐賀県ハンドボール協会	9
14	佐賀県自転車競技連盟	9-10
15	佐賀県ソフトテニス連盟	11
16	佐賀県卓球協会	11
17	佐賀県軟式野球連盟	11
18-1	佐賀県相撲連盟 (成年)	12
18-2	佐賀県相撲連盟 (少年)	12
19	佐賀県馬術連盟	13
20	佐賀県柔道協会	13
21	(一社) 佐賀県ソフトボール協会	13
22	(一社) 佐賀県フェンシング協会	14
23	佐賀県バドミントン協会	14
24-1	佐賀県弓道連盟 (成年)	15
24-2	佐賀県弓道連盟 (少年)	15
25	佐賀県ライフル射撃協会	15
26	(一社) 佐賀県剣道連盟	16
27	佐賀県ラグビーフットボール協会	16
28	佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟	17
29	佐賀県銃剣道連盟	17
30	佐賀県スケート連盟	17
31	佐賀県クレール射撃協会	18
32	(一社) 佐賀県空手道連盟	18
33	佐賀県スキー連盟	19
34	佐賀県アーチェリー協会	19
35	佐賀県カヌー協会	20
36	佐賀県ボウリング連盟	20
37	佐賀県なぎなた連盟	21
38	佐賀県アイスホッケー連盟	21
39	佐賀県ゴルフ協会	22
40	佐賀県トリアスロン協会	22

1-1 (一社)佐賀県水泳連盟(競泳・OWS)

項目		内容
選考方法		競泳・オープンウォータースイミング(OWS)は、当該年度の「佐賀県選手権水泳競技大会」で行う。
選考基準		【競泳】個人種目は、日本水泳連盟が定める標準タイム。 リレー種目は、入賞を目指して出場する。 【オープンウォータースイミング(OWS)】日本水泳連盟が定める第80回国民スポーツ大会OWS競技要項に準ずる。
選考の内容		【競泳】個人種目は、佐賀県選手権水泳競技大会出場種目から、当該年度4月1日～7月中の長水路タイムが、日本水泳連盟が定める標準タイムを突破している一番速い者を選出する。リレー種目は、別途考慮する。 【オープンウォータースイミング(OWS)】日本水泳連盟が定める第80回国民スポーツ大会OWS競技要項に準ずる。また、第79回国民スポーツ大会水泳(OWS)競技(滋賀県開催)以降から選考期間終了までに、公認・非公認を問わずOWS大会等の3km以上に出場履歴があること。
問合せ先	名称	佐賀県水泳連盟
	担当者名	沖田祥章

1-2 (一社)佐賀県水泳連盟(水球)

項目		内容
選考方法		一次選考：女子5名を強化選手として、強化部より選出。 最終選考：青森国スポ候補選手について、女子5名を(一社)佐賀県水泳連盟にて選出。
選考基準		日本水泳連盟が定める第80回国民スポーツ大会水球競技要項に準ずる。
選考の内容		強化部より1月から4月に実施した合同練習会への取り組みを基本に泳力や戦術理解及び、練習試合等で応用力等を見極めて国スポ候補選手を選出した。
問合せ先	名称	(一社)佐賀県水泳連盟 水球担当
	担当者名	南 孝志

1-3 (一社)佐賀県水泳連盟(飛込)

項目		内容
選考方法		飛込は、各都道府県水泳連盟(協会)が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをすることができる。また、予備エントリーをした都道府県には1名の出場枠を与える。予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場人数を決定する。
選考基準		国スポ予備エントリーの結果をもとに、国民スポーツ大会において上位入賞が期待できる選手を選考する。
選考の内容		各都道府県水泳連盟(協会)が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをする。 1)成年の部対象競技会 ① 関東選手権 ② 関西選手権 2)少年の部対象競技会 ① 地域高等学校選手権 ② 全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会 予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場選手数を決定し、各加盟団体へ通知する。
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県水泳連盟
	担当者名	原口進也

2 佐賀県ローイング協会

項目		内容
選考方法		一次選考：各種別、青森国スポ出場意志がある選手を、強化指定選手に強化部より指名 二次選考：各種別15名を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：青森国スポ選手各種別9名を佐賀県ローイング協会より指名
選考基準		強化練習、選考レース、前年度・該年度の大会成績、ローイングマシンのタイム等、総合的に勘案し、九州ブロック大会で権利獲得を期待できる選手を選考 事情があって選考レース等に参加できなかった者はエルゴメーターによる選考も考慮する。
選考の内容		一次選考：選考方法・その他の基準を満たしている者に対し、各所属団体において参加意志確認を行い選考 二次選考：6月末に行う選考レースにて選考 最終選考：6～7月までの期間に強化練習会・シートレースを実施し選考
その他		参加者は佐賀県ローイング協会の会員であること。 県外選手は、ふるさと選手に該当する者。 所属団体において、継続的に練習を行っている者。 国スポ出場選手に指名された者は、日本ローイング協会の選手登録を行うこと。
問合せ先	名称	佐賀県ローイング協会 強化部
	担当者名	齋藤 拓馬

### 3 特定非営利活動法人 SAGA SAILING

項目	内 容	
選考方法	成年 一次選考：男女各相当数を選手強化委員会より指名 最終選考：当該国スポに男女各4名を特定非営利活動法人SAGA SAILINGより指名 少年 一次選考：男女各相当数を強化選手として選手強化委員会より指名 最終選考：当該国スポに男女各3名を特定非営利活動法人SAGA SAILINGより指名	
選考基準	強化練習、全九州規模以上の大会成績等、総合的に勘案し、本年度の国スポにて上位入賞を期待出来る選手且つ、強い意志を持って大会に挑む選手を選考	
選考の内容	一次選考：5月出場意志・強化活動内容の承諾者から選考する。 最終選考：6月から7月までの期間に強化練習会及び予選会(他県にて行われる大会を含む、少年種目の選考を九州高校総体にて行う。)を実施して選考する。予選会に諸事情にて参加出来ない場合、事前にSAGA SAILINGへ申し出を行いSAGA SAILINGが認めた場合直近1年間の主要大会成績、強化活動への参加状況、全国大会実績、競技力等を総合的に評価する。	
その他	選考会参加者は、日本セーリング連盟及び特定非営利活動法人SAGA SAILINGの会員登録を行っていること。	
問合せ先	名称	特定非営利活動法人 SAGA SAILING
	担当者名	中山 英弘

### 4 (一財)佐賀陸上競技協会

項目	内 容	
選考方法	○第1回春季記録会(4/11)、県記録会(4/18,19)、第2回春季記録会(4/29)、県陸上競技選手権(5/10.11)、第2回長距離記録会(6/6)、国スポ選考会(7/4)での6大会より候補選手として選考する。 ○令和8年の九州大会や全国大会等の実績を考慮し選考する。 ○国スポで設定されている種目から29名を選考する。	
選考基準	強化練習会や第1回春季記録会(4/11)、県記録会(4/18,19)、第2回春季記録会(4/29)、県陸上競技選手権(5/10.11)、第2回長距離記録会(6/6)、国スポ選考会(7/4)での大会成績等、総合的に勘案し、国スポで入賞を期待できる選手を選考する。	
選考の内容	一次選考：第1回春季記録会(4/11)、県記録会(4/18,19)、第2回春季記録会(4/29)、県陸上競技選手権(5/10.11)の内容を基に選考。 二次選考：第2回長距離記録会(6/6)、国スポ選考会(7/4)の内容を基に選考。 三次選考：一次、二次選考と九州大会以上の実績を考慮し選考。	
その他	参加者は(一般財団法人)佐賀陸上競技協会の会員であること。また、ふるさと選手登録を佐賀にしていること。	
問合せ先	名称	(一般財団法人)佐賀陸上競技協会 強化部
	担当者名	強化委員長 松永 勝広

## 5 (一社)佐賀県サッカー協会

項目	内容
選考方法	<p>①少年男子・②少年女子チームの選考：基盤としてサッカー協会独自で取り組んでいる「トレセン制度(U11～U16まで段階的な選抜選手による強化練習会)」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手を4月から8月上旬まで強化練習会・選考会を実施し、国スポスタッフ5名(監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務)が推薦する。</p> <p>③成年女子チームの選考：5月～7月にかけて毎週1回(月4回程度)の選考会を実施し、国スポスタッフ5名(同上)が推薦する。</p> <p>○選考決定 技術委員会(委員長、副委員長、国スポスタッフ各5名ずつ)を開催し上記①②③からの推薦者について、協議・選定して、サッカー協会会長へ推薦する。 サッカー協会会長が(常務理事会を開催し)最終的に承認し認定する</p>
選考基準	<p>・選考の基準とするチェックシート(4段階評価、A監督の目標とするチーム戦術理解度、B技術、C体力、D個人戦術、Eサッカーの理解度)を選考スタッフが選手個別に評価する。</p> <p>・県大会、選考会、U16九州トレセン大会(少年男子・少年女子)の成績等、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考</p>
選考の内容	<p>国スポスタッフが考えるゲームモデルを念頭に、個々の特徴を勘案し、国スポスタッフ全員で選定している。</p> <p>①少年男子 一次選考：4月に3回選考会、U16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考：U16九州トレセン大会内容を基に選考 最終選考：7月に強化練習会・選考会を2回実施</p> <p>②少年女子 一次選考：4月に2回選考会、U16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考：5月から6月の期間に強化練習会を数回実施 最終選考：7月に強化遠征と強化合宿を行い選考</p> <p>③成年女子 5月～7月にかけて毎週1回の選考会を実施。基本的にゲーム形式で、各ハーフ毎に状況によるタスクを選手に与え、そのパフォーマンスの発揮状況で選考する"</p>
その他	<p>・選考チェックシートを活用(4段階評価)</p> <p>選考時に「A:監督の目標とするチーム戦術理解度」、「B:技術」、「C:体力」、「D:個人戦術」、「E:サッカーの理解度」「F:個人の特徴」の6つの項目でのチェックシート</p>
問合せ先	名称 佐賀県サッカー協会事務局
	担当者名 木島 隆一郎

## 6 佐賀県テニス協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各3名を決定する予選会を開催。 二次選考：1次予選免除の男女1名づつを加え男女4名の決定戦を行う 最終選考：2次予選の結果を踏まえ青森国スポ選手男女2名を佐賀県テニス協会より指名	
選考基準	1次予選通過者、1次予選免除者(前年度選考された者、インカレ本戦出場)、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を予選会を踏まえ選考	
選考の内容	一次選考：4月29日に希望者による予選会を開催 二次選考：6月7～8日に2次予選会を開催 最終選考：上記の予選会の試合結果により男女2名を選考	
その他	参加者は佐賀県テニス協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県テニス協会 事務局
	担当者名	小島 和文

## 7 佐賀県ホッケー協会

項目	内 容	
選考方法	少年男女 監督・コーチが強化選手選手選出を行い、ヘッドコーチの承認後決定 成年男女 監督・コーチ・キャプテンが強化選手選出を行い、ヘッドコーチの承認後決定	
選考基準	全種別 強化練習、各種大会での活躍等、総合的に勘案し、国スポ本大会及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	前年度2月から5月までの期間における強化練習会及び所属チームでの活動内容を基に選考	
その他	参加者は佐賀県ホッケー協会の会員、またはふるさと選手であること。また、日本ホッケー協会登録費を完納していること	
問合せ先	名称	佐賀県ホッケー協会事務局
	担当者名	事務局長：金井田 幸樹

8 佐賀県バレーボール協会

項目	内 容	
選考方法	チーム構成・候補選手は佐賀県バレーボール協会強化委員会(以下、強化委員会)が選考内容に沿う総合的な判断により選考し、その選出案を佐賀県バレーボール協会常任理事会(以下、常任理事会)で審議し決定する。	
選考基準	選考内容にしたがい総合的に判断し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考する。	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6人制少年男女の部</li> </ul> 候補選手の選考は、主要大会における実績を基に強化委員会の総合的な判断により選考し、選出案とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6人制成年男女の部</li> </ul> 佐賀県在住者からの選抜選手及びふるさと選手の中から有望な選手とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチバレーボールの部</li> </ul> 次の選考を以って強化委員会が総合的な判断により選考する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①一次選考：候補選手選考会を基に候補選手を10名程度選考する。</li> <li>②二次選考：候補選手に対して合同練習会を実施し、選考する</li> </ul>	
その他	主要大会 ○新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○佐賀県高校総合体育大会 ○全日本高等学校選手権大会(春高バレー)佐賀県大会	
問合せ先	名称	佐賀県バレーボール協会事務局
	担当者名	江頭 辰弥

9 佐賀県体操協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：本県体操協会主催国スポ予選会により上位より指名 二次選考：それぞれの強化部より国スポ候補選手として指名 最終選考：国スポ代表選手を佐賀県体操協会より指名	
選考基準	強化練習、国スポ予選会の成績等、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：国スポ予選会の内容を基に選考。 (新体操5/4・5、体操5/31) 二次選考：それぞれの強化部により強化練習会を実施し選考。 最終選考：常任理事会により選手を選考。	
その他	参加者は佐賀県体操協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県体操協会事務局
	担当者名	坂井 欣吾

10 (一社)佐賀県バスケットボール協会

項目	内容
選考方法	<p>【成年】</p> <p>1次選考：春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考                  2次選考：強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を監督・スタッフにおいて指名・県協会理事会にて承認後に決定</p>
	<p>【少年】</p> <p>第一次選考 20名～30名程度 トライアウト方式                  第二次選考 一次選考後、強化練習会、強化試合、強化遠征等でエントリー選手及び予備登録選手を決定</p>
選考基準	<p>【成年男子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週2～3回の強化練習会への参加</li> <li>・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加</li> <li>・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手</li> <li>・技術面・身体面において国スポで戦える選手かを判断する</li> <li>・国スポへの強い意欲があるもの</li> </ul>
	<p>【成年女子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加</li> <li>・ふるさと選手に関して、現状の所属チームにおいての実績と選手個人の意欲、強化練習会や強化合宿などのへの参加後に選考</li> <li>・その他、随時選考の機会は可能な限り期間内に設ける</li> <li>・国スポへの強い意欲があるもの</li> </ul>
	<p>【少年男子】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国スポへの意欲・意思</li> <li>2 プレースタイル・コンタクトを好む ・1対1で戦うことを好む</li> <li>3 ファンダメンタルズ ・基本技術の実戦での実践力(フットワーク、パッシング、ドリブル、シュート力、リバウンディング)・オフェンス、ディフェンスのスペーシングの理解</li> <li>4 運動能力・クイックネス能力・スプリント・ジャンプ力</li> <li>5 その他・特殊な能力(シュート力、リバウンド力、リーダーシップなど)</li> </ol> <p>【少年女子】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、国スポへの意欲・関心・態度 ① 取り組む姿勢②ハッスル③コミュニケーション能力</li> <li>2、身体的能力 ①サイズ感②スピード③パワー④クイックネス⑤ストップ</li> <li>3、技術的能力 ①シュート力②パスの強さと正確さ③リバウンド④対人防御⑤プレイの巧みさ</li> <li>4、判断力 ①プレイの選択②オフボール時の動き→スペーシング(合わせ)③DFカバーリング</li> </ol>
選考の内容	<p>【成年男子】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月上旬までの強化練習会、強化試合において随時選考する。</li> </ul>
	<p>【成年女子】</p> <p>選考練習会・選考試合の実施                  1次選考：強化練習会・強化合宿を実施(15名程度)                  2次選考：強化練習会・強化練習試合において最終選考</p>
	<p>【少年男子】</p> <p>体力測定、スキルテスト(ドリブル、パス、シュート)、対人技能、scrimmage等</p>
	<p>【少年女子】</p> <p>身体能力テスト                  20mスプリント、ボックスアジリティ、3往復×3ダッシュ、ロングチェストパス、ハーフコート、1on1、フリースロー、リング下シュート、ジャンプシュート、セットシュート、3on3ラリー、5on5</p>
問合せ先	<p>名称 (一社)佐賀県バスケットボール協会</p>
	<p>担当者名 篠崎 文昭</p>

11 佐賀県レスリング協会

項 目		内 容
選考方法		一次選考：佐賀県強化選手の中から、佐賀県国スポ候補選手として、強化委員会より指定。 二次選考：国スポ候補選手の中から、各大会の成績等を考慮し、強化委員会より指定。 最終選考：国スポ選手成年5名、少年6名、女子1名を強化委員会より指名。
選考基準		強化練習、各大会の成績等を総合的に勘案し、上位入賞を期待できる選手を選考。
選考の内容		一次選考：過去の実績等をもとに強化委員会の協議にて選考。 二次選考：各大会の成績等を見て強化委員会の協議で選考。 最終選考：県強化委員会が開催する強化練習会に参加する。
問合せ先	名称	佐賀県レスリング協会 事務局
	担当者名	田代大貴

12 佐賀県ウエイトリフティング協会

項 目		内 容
選考方法		より多くの点数(競技得点)を獲得する見込みのある選手を選考する。
選考基準		成年男子：過去の国スポの競技結果と比較し、より多くの点数を獲得する見込みのある選手の順に選考する。 少年男子：過去の国スポの競技結果と比較し、より多くの点数を獲得する見込みのある選手の順に選考する。 女 子：各都道府県大会の成績を集計し、各階級上位15名に出場権が与えられる。
選考の内容		成年男子：前年度の国スポ及び全日本社会人大会、当該年度の県春季大会及び全日本選手権大会の記録を選考基準の対象とする。 少年男子：当該年度の国スポ予選会及び全国高校総体の記録を選考基準の対象とする。 女 子：上記、選考基準のとおり。
その他		佐賀県ウエイトリフティング協会の会員であること。
問合せ先	名称	佐賀県ウエイトリフティング協会
	担当者名	園田 文明

13 佐賀県ハンドボール協会

項目	内容	
選考方法	9月…各学校より選考対象選手を選出 10月…選考対象選手を集め、合同強化練習会 11月…強化練習会 1月…強化練習会/招待試合(男子) 3月…強化練習会(女子) その他春季総合(4月)・インターハイ県予選(5月)の試合内容を加味したうえで選手選考を行う。	
選考基準	強化練習会の中で対象選手のスキルや伸びを強化部長や指導者(理事長・事務局長・副会長など)で評価し、上位の者を選手として選出する。	
選考の内容	・体力テスト ・指導に対する適応能力 ・ポジションごとの適応能力 ・ポジション外の適応能力 ・ゲームでの自己表現・周りの選手との調和などを総合的に評価	
その他	前年度の選考での反省を生かして、早い段階から選考会などを行い、選手発掘及び選手育成に力を入れた。選考会などでの選手同士の刺激などでプレーにも特徴が出てきている。(県の方針の浸透)	
問合せ先	名称	佐賀県ハンドボール協会
	担当者名	橋本 祐一

14 佐賀県自転車競技連盟

項目	内容																
選考方法	佐賀県自転車競技連盟(以下、県車連)が指定する以下のタイムを一つ以上記録した選手を選考対象とする。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>200m</th> <th>1km</th> <th>3km・4km</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子A</td> <td>10秒999以内</td> <td>1分07秒999以内</td> <td>4分49秒999以内 (4km)</td> </tr> <tr> <td>男子B</td> <td>11秒799以内</td> <td>1分12秒999以内</td> <td>3分51秒999以内 (3km)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>13秒199以内</td> <td>1分21秒999以内</td> <td>4分15秒999以内 (3km)</td> </tr> </tbody> </table>		200m	1km	3km・4km	男子A	10秒999以内	1分07秒999以内	4分49秒999以内 (4km)	男子B	11秒799以内	1分12秒999以内	3分51秒999以内 (3km)	女子	13秒199以内	1分21秒999以内	4分15秒999以内 (3km)
		200m	1km	3km・4km													
	男子A	10秒999以内	1分07秒999以内	4分49秒999以内 (4km)													
	男子B	11秒799以内	1分12秒999以内	3分51秒999以内 (3km)													
女子	13秒199以内	1分21秒999以内	4分15秒999以内 (3km)														
申告方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年の国民スポーツ大会(以下、国スポ)以降の公式大会の結果</li> <li>県車連の記録会、強化練習会でのタイム測定選考対象者を県車連の理事会で審議し、各カテゴリ-3名ずつ指名する。</li> </ul>																
最終選考	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州自転車競技選手権大会後に、選考対象者を県車連の理事会で審議し、各カテゴリ-3名ずつ指名する。</li> </ul>																

選考基準	<p><b>【男子A】</b>  3名参考大会で指定の順位を獲得した者のなかから総合的な判断により選考する。  ・トラック  8位以内：全日本トラック、ジャパントラック、JICF国際トラック、インカレに準ずる大会  3位以内：TRS、九州選手権大会、東日本・西日本学生選手権に準ずる大会  ・ロード  20位以内：全日本選手権(TT 含む)、UCI 公認レース、インカレに準ずる大会  8位以内：JBCF、チャレンジサイクルロード、RCS(クラス1)に準ずる大会  3位以内：九州選手権大会、RCS(クラス2)、KCS(C1)に準ずる大会</p> <p><b>【男子B】</b>  ・3名定期的におこなう記録会、強化練習会や公式大会などから総合的な判断により選考する。</p> <p><b>【女子】</b>  ・3名記録会や公式タイム(200m、1 k m、3 k m)から順位付けをおこない、その順位から総合的な判断により選考する。(※例外として、全国規模のロードレースで5位以上の成績を残した者を優先して選考する)</p>				
選考の内容	<p>○団体及び個人における種目内優先順位</p> <p>1. トラックレース(団体種目、1kmTT、個人種目)、ロードレースのなかで、より多種目で活躍できる選手を優先して選考する。</p> <p>2. 団体種目の競技得点が個人種目の3倍のため、団体種目で活躍できる選手を優先して選考する。団体種目は4kmチーム・パーシュートとチーム・スプリントの2種目(女子はチーム・スプリントのみ)があるが、当該年度選手のバランスを考慮してどちらかを優先する。優先された種目で、より活躍が期待できる選手を優先して選考する。</p> <p>3. 個人種目は、レース展開による順位変動が少ない1kmTT、スプリントで上位入賞が期待できる選手を優先して選考する。(参考として男子Aは屋外で1kmTT:1分03秒999以内スプリント(ハロン)：10秒499以内を記録したもの)そのほかの種目については、過去の成績、国スポ開催時に予想されるパフォーマンスを考慮して、より活躍が期待できる選手を優先して選考する。</p>				
その他	<p>・佐賀県代表選手としての自覚と使命感を持つ者を選考する。代表選手としてふさわしくない行動がみられた場合には、選考基準を満たしていたとしても選考対象から</p>				
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="288 1503 373 1552">名称</td> <td data-bbox="373 1503 1394 1552">佐賀県自転車競技連盟事務局</td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1552 373 1590">担当者名</td> <td data-bbox="373 1552 1394 1590">浅井正史</td> </tr> </table>	名称	佐賀県自転車競技連盟事務局	担当者名	浅井正史
名称	佐賀県自転車競技連盟事務局				
担当者名	浅井正史				

## 15 佐賀県ソフトテニス連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：成年男女各8名、少年男女各20名を強化部より指名 二次選考：成年及び少年男女各2名を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：成年及び少年男女各5名を国スポ選手として佐賀県ソフトテニス連盟より指名	
選考基準	・当該年度のナショナルチーム所属の選手は予選会免除 ・予選会、強化練習、国内大会(アジア大会予選等)、少年男女においては九州・全国総体の成績等を総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	【成年男女】 一次選考：前年度の国民スポーツ大会の内容を基に選考 二次選考：国スポ一次選考会(成年男子：2月15日、成年女子：4月5日)、二次選考会(成年男女：6月21日)の結果を基に選考 最終選考：6月下旬から8月中旬に強化練習会を1回実施 【少年男女】 一次選考：高校総体及び中学生春季選手権大会の結果を基に選考 二次選考：国スポ少年男女佐賀県選考会(6月中旬)の結果を基に選考 最終選考：九州総体・全国総体の結果を踏まえ、強化練習会を8月中旬に1回実施	
問合せ先	名称	佐賀県ソフトテニス連盟
	担当者名	中島哲徳

## 16 佐賀県卓球協会

項目	内 容	
選考方法	令和8年7月20日(月・祝)SAGAプラザにおいて成年男女、少年男女の選手選考会を行う。 推薦選手：2025年~2026年に日本代表として国際大会出場または全日本選手権および全日本社会人選手権個人戦ランキング保持者については選考会の結果に優先して推薦する。ただし推薦選手は最大3名までとする。	
選考基準	選手選考会結果および前年度、今年度の成績等を考慮して、本国スポや九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を協会にて決定する。	
選考の内容	選手選考会：7月20日(月・祝)SAGAプラザ 成年男女：推薦選手が3名選出された場合は選考会の1位を予備登録選手とする。推薦選手が3名に満たない場合は選考会の結果等を考慮し常任理事会において決定する。 少年男女：選手選考会の1位は選手に決定する。残る2名および予備登録選手は選手選考会や前年度、今年度の成績を考慮し常任理事会において決定する。	
その他	推薦者、選考会参加資格者は国民スポーツ大会出場資格者とする。	
問合せ先	名称	佐賀県卓球協会
	担当者名	強化部 寄谷 大輔

## 17 佐賀県軟式野球連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：県内支部代表16チームにより選考会を実施する。 二次選考：優勝チームを中心に選手を選考する。 最終選考：国スポ選手20名を佐賀県軟式野球連盟より指名	
選考基準	強化練習、強化遠征等を実施し、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：A級大会及び国スポ選考会の内容を基に選考 二次選考：6月から7月までの期間に強化練習会、強化遠征等を実施 最終選考：6月から8月までの期間の強化対策で決定	
その他	参加者は佐賀県軟式野球連盟の登録選手であること。また、軟式野球連盟の定める規定を遵守すること。	
問合せ先	名称	佐賀県軟式野球連盟
	担当者名	森脇正弘

## 18-1 佐賀県相撲連盟(成年)

項目	内 容	
選考方法	【成年男子】 4月19日(日) 1次予選会 6月14日(日) 2次予選会(最終予選会)	
選考基準	【成年男子】 4月19日(日) 1次予選：正選手1名内定決定(1位通過者) ※1次予選参加者を2次予選出場者とする。但し出場の意思がある大学生については、春の大会も考慮し2次予選からの出場を認める。 6月14日(日) 2次予選：正選手2名決定(学生は1枠) ※参加資格 1次予選参加者+学生	
選考の内容	【成年男子】 リーグ戦とする。	
その他	【成年男子】 ※大学生は春の選抜大会(東、西日本学生選手権合)個人戦3位入賞者は特例として内定とする。複数名入賞者がいる場合は、国スポ正選手1枠を内定として対象者による代表決定戦を実施。 ※合同稽古等に関する全ての調整は、成年監督にて行う。また、やむを得ない理由(冠婚葬祭等)で欠席となる場合は、速やかに成年監督へ連絡すること。	
問合せ先	名称	佐賀県相撲連盟
	担当者名	監督 西 祐輔

## 18-2 佐賀県相撲連盟(少年)

項目	内 容	
選考方法	【少年男子】 6月14日(日) 最終予選会 リーグ戦	
選考基準	【少年男子】 選考会により1位から7位までの順位決定する。 上位1位から4位までを正選手として決定 5位を正選手として内定。6位、7位の予備選手として内定する。	
選考の内容	【少年男子】 8月11日(火) ※競技力向上部の委員会を開催し、各大会や強化練習等による選手の状況を勘案し最終1名の正選手を決定する。その際、選考方法や選考結果については十分な説明を行う事とする。	
その他	【少年男子】 ※4月以降の最終予選会まで、また国スポ選手になった者は、必ず計画された稽古に参加すること。 少年監督より強化合同練習会及び出稽古等のスケジュールを共有する。	
問合せ先	名称	佐賀県相撲連盟
	担当者名	監督 轟木信之介

## 19 佐賀県馬術連盟

項目	内容
選考方法	「2026青森国スポ選手選考委員」を任命し、九州ブロック大会にて 上位入賞者の中より選考委員によって選出した選手を理事会に報告し、承認を得て会長名にて推薦する。 * 人馬の組み合わせを考慮し選手・種目を決定する。
選考基準	日馬連指定の強化合宿・試合に参加出来るもの(日馬連B級ライセンス以上の乗馬資格を有する事) * 成年男子-MB以上クラス・セントジョージクラス * 成年女子-MC以上クラス・セントジョージクラス * 少年-MD以上クラス・Jrライダー課目以上 * 馬場馬術に於いては、60%以上が安定して出せる事。 * 本国スポにおいて使用する予定の馬匹にて、上位入賞が期待できる人馬を優先的にして種目の割り振りを行う。
選考の内容	* 各指定された種目にて完走できること。 * 国スポの実施グレードを考慮し、日馬連主催の3スター以上の競技会にて完走できること。 * 本国スポに使用予定の馬匹にて上位入賞が期待出来る内容の走行が出来る事。
その他	参加者は、佐賀県馬術連盟の会員であること。又、当該年度の登録費を完納していること。
問合せ先	名称 佐賀県馬術連盟事務局
	担当者名 今村正道

## 20 佐賀県柔道協会

項目	内容
選考方法	一次選考：男女各階級3～4名を強化選手として強化部会より指名 二次選考：男女各階級2名を国スポ候補選手として強化部会より指名 最終選考：国スポ選手男女各階級1名を佐賀県柔道協会より指名
選考基準	強化練習会や各種大会及び国スポ選考会等を勘案し、佐賀県代表として国民スポーツ大会で上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	今までの実績や各種大会、国スポ選考会(7月中旬)等を基に選考
その他	参加者は、佐賀県柔道協会の会員であること また、当該年度の全柔連登録が完了していること
問合せ先	名称 佐賀県柔道協会事務局
	担当者名 大屋 隆

## 21 (一社)佐賀県ソフトボール協会

項目	内容
選考方法 選考基準	成年男子：国スポにかかる予選会を実施し、優勝チームのメンバーを中心に上位チームのメンバーを対象に選考を行う。 成年女子：ふるさと選手として実業団、大学のメンバーから参加できる選手を選考する。これまでに実績のある県内で活動している選手も対象とする。 少年男子：牛津高校の選手を対象とする。 少年女子：佐賀女子高の選手を対象とする。
選考の内容	6月に各種別について、県協会の会長、理事長、事務局長を含め、監督とも相談して決定する。
問合せ先	名称 (一社)佐賀県ソフトボール協会
	担当者名 日吉 照彦

## 22 (一社)佐賀県フェンシング協会

項目	内容
選考方法	一次選考：強化選手(各5名程度)を強化委員会が指名する。 成年男子：前年度のエペにおける競技実績を基に選考する。 成年女子：前年度のサーブルにおける競技実績を基に選考する。 少年男女：前年度のフルーレにおける競技実績を基に選考する。 二次選考：各4名を国スポ候補選手として、強化委員会が指名する。 最終選考：国スポ代表選手各3名を、協会理事会で決定する。
選考基準	令和7年度の戦績を中心に、令和8年度種目(成年男子：フルーレ・エペ、成年女子：フルーレ・サーブル、少年男女：フルーレ)における実績を総合的に勘案し、国民スポーツ大会及び九州ブロック大会において上位入賞が期待される選手を選考する。
選考の内容	一次選考：令和7年度の戦績を基に選考。 二次選考： (少年男女)5/30県総体および6/13県選考会を実施し、その結果をポイント化して国スポ代表選手4名を指名 (成年女子)強化委員会で4名を指名 (成年男子)7/12県選考会を実施し、エペのみ総当たりを2回行い、その結果をポイント化して4名を指名 ※日程の変更あり 最終選考：国スポ代表選手各3名を、協会理事会で決定する。
その他	参加者は佐賀県フェンシング協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称 一般社団法人佐賀県フェンシング協会
	担当者名 野本 尚子

## 23 佐賀県バドミントン協会

項目	内容
選考方法	① 国スポ候補者の選出 ② ①の候補者で最終選考
選考基準	①国スポ候補者の選出 (1)県外(ふるさと)については佐賀県バドミントン協会が推薦 (2)候補者選出の大会(単・複)において2位以上の者 ②①の候補者で最終選考
選考の内容	4月：佐賀県バドミントン協会が推薦するふるさと選手候補者を公表 6月：候補者選出の大会(単・複)において2位以上のものを最終選考の対象者とする。
その他	日本バドミントン協会に佐賀県の会員として登録しているものは、候補者選出の大会に出ること。推薦者については、佐賀県バドミントン協会強化部が選手と連絡を取り、大会参加の可能性がある者を推薦する。推薦者については候補者選出の大会要項と同時にホームページに公表する。
問合せ先	名称 佐賀県バドミントン協会 強化部
	担当者名 森田 広貴

## 24-1 佐賀県弓道連盟(成年)

項目	内 容	
選考方法	選考会を3回行い、青森国スポ選手男女各3名を佐賀県弓道連盟より指名する。	
選考基準	佐賀県代表選手としての自覚を持ち、射形、体配、的中を総合的に鑑み、青森国スポにおいて上位入賞を期待できる選手を選考します。	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選考会を5月3日、5月24日、7月12日に3回実施。</li> <li>・選考会の内容を基に選考する。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加する方は佐賀県弓道連盟の会員であること</li> <li>・強化練習及び合宿、遠征等に参加できること</li> </ul>	
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟
	担当者名	石橋 信二

## 24-2 佐賀県弓道連盟(少年)

項目	内 容	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠的記録会(2月～3月)</li> <li>・選考会(6月14日)</li> </ul>	
選考基準	的中、射形、体配から、本大会で活躍可能な選手を選抜	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠的記録会(2月～3月)</li> <li>・選考会(6月14日)</li> </ul> →遠的・近的競技を実施、 遠的記録会の結果を含め、男女4名ずつ(控え含む) 代表選手を指名	
その他	選考対象は、県内高校生及び各地区の連盟会員高校生であり、原則6月の選考会に参加した者とする	
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟
	担当者名	平川 亮佑

## 25 佐賀県ライフル射撃協会

項目	内 容	
選考方法	<p>国スポ選手選考員会は、佐賀県ライフル射撃協会理事会で兼ねる。</p> <p>◇成年の50m10m種目</p> <p>①3, 4, 5月の県選考記録会、大会の成績を基本とする</p> <p>②エントリー選手のいない種目については、他の大会成績等により、委員会で協議し決定する</p> <p>◇25m種目(CP)①県ラ理事 立ち会いの下、警察内部で記録を取る</p> <p>◇Jr種目 県外大会、県内記録会の成績で選考する。記録は本選記録を基本とするが、大会でのファイナルの成績も参考にする。</p>	
選考基準	<p>○ブロック大会予選通過、本大会で天皇杯得点を多くとることを目指して、該当する記録会や大会の記録をもって選考する。</p> <p>○県選考記録会にエントリーした選手の最高位の記録が、前回国スポ当該種目の中間順位の点数より下まわっている場合、エントリーしていない選手も含めて他の大会成績等により、委員会で協議し決定する。</p>	
選考の内容	選考資料にある選考記録会や大会の本選記録(得点)など客観的資料を基に選考委員会において公平に選考する。	
その他	<p>当該年度の日本ライフル射撃協会および佐賀県ライフル射撃協会会員であること</p> <p>インテグリティ講習の有効な受講歴があること。</p> <p>選考方法等は、佐賀県ライフル射撃協会の当該年度の総会で報告され、総会后、全会員に総会資料とともに通知される。また、SNS等を使って該当選手・保護者に周知される。</p>	
問合せ先	名称	佐賀県ライフル射撃協会
	担当者名	高柳 喜人

## 26 (一社)佐賀県剣道連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>成年の部については、令和8年5月24日に令和8年国民スポーツ剣道競技佐賀県予選会を実施し候補選手を選出する。</p> <p>少年の部については、これまでの実績等を参考に男女各9名を選出し、2次選考(6月)、最終選考(7月)を行い選手を選出する。</p>	
選考基準	<p>強化練習、県外遠征等を総合的に勘案し、国スポ・九州ブロック大会、上位入賞を期待できる選手を選考する。</p>	
選考の内容	<p>成年の部については、令和8年5月24日にトーナメント方式またはリーグ方式で試合を行い、原則として1位の者を候補選手とする。ただし、副将・大将については剣道コーチの資格を有するため、結果を踏まえ剣道連盟で候補選手を選出する。</p> <p>少年の部については、これまでの実績等を参考に男女各9名を選出し、2次選考(6月)、最終選考(7月)を行い選手を選出する。</p>	
その他	<p>参加者は、佐賀県剣道連盟の会員であること。</p>	
問合せ先	名称	一般社団法人 佐賀県剣道連盟
	担当者名	古川 善隆

## 27 佐賀県ラグビーフットボール協会

項目	内 容	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年男子は佐賀県高校総合体育大会を選考試合と位置づけて、勝者チームの監督等によりメンバーを選考をしている。</li> <li>成年男子、女子は強化委員会で選考をしている。</li> </ul> <p>ふるさと選手については強化委員会より本人への打診と所属チーム関係者との協議により選考をしている。</p>	
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民スポーツ大会及び九州ブロック大会で上位入賞が期待できる選手の選考を行っている。</li> <li>強化委員会が実施する夏の合宿及び強化練習会に参加できることを条件とする。</li> <li>成年及び女子については、ふるさと選手の活用が必要であるが、個人及びチーム状況等を配慮しながら選考を行っている。</li> </ul>	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年は選考会等の結果により、強化委員会で決定している。</li> <li>成年及び女子等については県内選手だけでのチーム編成では厳しい状況があるので、ふるさと選手の選考が重要であるが、所属チームの状況を把握しながらの選考となる。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手選考の意思決定としては、強化委員会で決定し、協会理事会へ報告を行う。</li> </ul>	
問合せ先	名称	佐賀県ラグビーフットボール協会
	担当者名	古賀 善充

## 28 佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>一次選考：例年、県予選会を行っているが、カテゴリによっては、昨年度(1月・3月)に開催されたジャパンカップや今年度開催されるユース大会(リード・ボルダー)等の当の成績をもとに候補選手を男女上位2～3名を選出する。</p> <p>種別によっては、一次選考で決定する場合もある。</p> <p>二次選考：候補選手から男女2名を連盟より指名</p>	
選考基準	強化練習、県予選会、リードユース大会(多久)、ボルダーユース大会(倉吉)、その他の大会等の成績を総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	<p>一次選考：県予選会及び選考会の内容を基に選考</p> <p>二次選考：4月から6月までの期間に強化練習会を5回実施</p>	
その他	参加者は佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟の会員であること。 また、令和8年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟
	担当者名	武末 良樹

## 29 佐賀県銃剣道連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>一次選考：少年男子・成年男子共に5名程度を強化選手として指名</p> <p>二次選考：予選大会を実施し各4名国スポ候補選手として指名</p> <p>最終選考：国スポ選手各3名を佐賀県銃剣道連盟より指名</p>	
選考基準	強化練習、九州大会、全国大会の成績等、総合的に勘案し、国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	全国大会及び選考会の内容を基に選考	
その他	予選会の順位のみでの選考ではなく、各種大会の成績等を総合的に判断し選手選考の資とする。	
問合せ先	名称	佐賀県銃剣道事務局
	担当者名	河合 大地

## 30 佐賀県スケート連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>スピードスケート、ショートトラック、フィギュアスケートの各種目とも、級が上の選手を代表とする。</p> <p>選手の級が同じ時は、直近の大会で成績が上位の選手を代表とする。</p>	
選考基準	国スポに出場する資格の級を所持していること。	
選考の内容	選考方法と同じ。	
問合せ先	名称	佐賀県スケート連盟
	担当者名	松尾 和子

31 佐賀県クレー射撃協会

項目	内 容	
選考方法	佐賀県クレー射撃協会が指定する大会(公式大会及び記録会)における競技成績に基づき、青森国民スポーツ大会の代表選手を選考する。 選考は、青森国スポ選手エントリー締切日までに実施された指定大会における合計300点の成績により行い、トラップ競技2名、スキート競技2名(うち女性選手1名)を選出する。	
選考基準	指定大会における合計得点(300点)のうち、100点以上は県外大会の成績を含むものとする。 佐賀県クレー射撃協会が主催する公式大会と同日に開催される他の公式大会の成績は、選考対象外とする。 青森国民スポーツ大会の関係規約、競技規則及び注意事項等を遵守しない者は、選考対象から除外する。	
選考の内容	指定大会終了ごとに成績の集計を行い、上位者から代表選手を決定する。 補欠選手が必要となった場合は、次点者をもって充てる。 佐賀県クレー射撃協会の役員及び会員は、指定大会への積極的な参加に努めるものとする。	
その他	参加者は佐賀県クレー射撃協会及び(公社)日本クレー射撃協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県クレー射撃協会
	担当者名	高橋 智美

32 (一社)佐賀県空手道連盟

項目	内 容					
選考方法	1次選考：当年の佐賀県選手権大会へ出場 但し、全国・国際大会出場及び怪我で欠場は考慮する 2次選考：県選手権大会及びJKF全国大会AKF/WKF国際大会等の成績 3次選考：九プロ及び全九州選手権大会 最終選考：選考会					
選考基準	強化練習及び各種大会での成績を考慮し、九プロ及び国スポで上位成績を狙える選手を強化部で選考する。					
選考の内容	選考基準 ポイント制					
	大会名	出場	ベスト8	ベスト4	2位	1位
	国際大会 (WKF・AKF主催)	10	20	30	40	50
	全日本選手権	8	16	24	32	40
	国スポ	7	14	21	28	35
	全日本学生選手権	6	12	18	24	30
	インターハイ	6	12	18	24	30
	九州国スポ & 全九州空手道選手権大会	4		12	16	20
	九州高校総体	4		12	16	20
	佐賀県空手道選手権大会			6	8	10
※県高校総体の結果も参考に選考する。 最終選考：選考会 同点の者がいた場合、選考会を実施し勝者を代表に決する。						
その他	参加者は、佐賀県空手道連盟の会員であること。また、当該年度の会費を納めていること。					
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県空手道連盟				
	担当者名	理事長 合原 正典				

## 33 佐賀県スキー連盟

項目	内 容	
選考方法	1)国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会 佐賀県予選会(九州アルペンスキー競技会)を実施。(毎年1月上旬に大分県九重スキー場で開催) 2)1)予選会の結果を基に練習会や合宿への参加状況等を考慮して常任理事会で決定し、理事会に報告する。	
選考基準	同上	
選考の内容	同上	
その他	①当該年度 佐賀県スキー連盟及びSAJ 登録者、または現住所・勤務地が佐賀県内にある者、出身中学・高校所在地が佐賀県内にある者。(高校生は競技者登録も必要とする) ②佐賀県内の中学校または高等学校に在籍する生徒であり、転校後6ヵ月以上経過している者。(ただし、一家転住による転校に関しては除外する) ③上記①②の2点において該当し、かつ県予選及び各全国大会出場に関し保護者の同意が得られている者。(中学生・高校生)	
問合せ先	名称	佐賀県スキー連盟事務局
	担当者名	立川 栄

## 34 佐賀県アーチェリー協会

項目	内 容	
選考方法	1次～3次(最終)選考において選考し、選考委員会にて決定する	
選考基準	・1次～3次選考会に参加した選手を選考対象とする。	・計画している強化練習に参加できる。
選考の内容	1次 4月25～26日 70m R 各144射 2次 5月23～24日 70m R 各144射 3次 6月6～7にち 70m R 各144射 対象選考会において70m R 144射計が最も高かった上位3名を候補選手とし、選考委員会にて決定する。	
その他	参加者は佐賀県アーチェリー協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アーチェリー協会
	担当者名	堤 勇樹

## 35 佐賀県カヌー協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各25名を強化選手として、強化部より指名 二次選考：男女各20名程度を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考： 青森国スポ九州ブロック選手男女17名を佐賀県カヌー協会より指名	
選考基準	強化練習合宿、国際大会、高校総体の成績等、総合的に勘案し、国民スポーツ大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：各種大会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：1月から6月までの期間に強化練習会を3回実施 最終選考：7月から8月までの期間に強化練習会を1回実施	
その他	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納していること。ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国スポに出場 することを認める	
問合せ先	名称	佐賀県カヌー協会事務局
	担当者名	田中 浩章

## 36 佐賀県ボウリング連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：県内予選会(3回)を行いトータル36Gで各種別上位8名ずつを選出。 2次選考：一次選考会、全九州選抜(2月)、全九州選手権(5月)のトータル51ゲームで上位成年男女4名ずつ、少年男女2名ずつを選出。 最終選考：佐賀国スポ選手成年男女4名(補欠1名)ずつ少年男女2名ずつを佐賀県ボウリング連盟より指名	
選考基準	強化練習、全九州、全国大会の成績等、総合的に勘案し、本国スポ上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：1月25日、3月1日、4月5日に選考会の内容を基に選考。 二次選考：2月14日～15日の全九州選抜、5月23日～24日の全休選手権の内容を基に選考。 最終選考：5月31日に選考委員会を行い国スポ選手を決定。	
その他	参加者は佐賀県ボウリング連盟の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県ボウリング連盟
	担当者名	前原 健吾

## 37 佐賀県なぎなた連盟

項目	内 容	
選考方法	(成年) 一次予選：参加希望者による総当たりリーグ戦(5月30日) 二次予選：一次予選上位6名による総当たりリーグ戦 (7月4日) (少年) 一次予選：高校総体(5月30日) 二次予選：高校総体上位4名となぎなた連盟より推薦された 4名以内の計8名以内による総当たりリーグ戦 (7月4日)	
選考基準	一次予選・二次予選の成績、前年度の全国大会の成績、強化練習等を総合的に勘案して国スポで上位入賞が期待できる選手を選考	
選考の内容	試合競技において 一次選考：選考会の内容をもとに選考 二次選考：選考会の内容をもとに、選手候補3名、補欠候補2名を 選出 最終選考：8月まで強化練習会を定期的実施し、内容をもとに選考	
その他	参加者は、佐賀県なぎなた連盟の会員、または全日本学生なぎなた連盟の会員であること。	
問合せ先	名称	佐賀県なぎなた連盟事務局
	担当者名	山本 智子

## 38 佐賀県アイスホッケー連盟

項目	内 容	
選考方法	①候補選手選定：9月開催の定期役員会(理事会)で監督1名、選手25名(ふるさと選手を含む)を前年度監督の助言で選定・承認。 ②九州プロ大会選手選定：10月上旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③冬季国スポ選手選定：12月中旬開催の臨時役員会(理事会)で監督1名、選手16名を選定・承認。	
選考基準	ふるさと選手を含めた社会人・学生合同の強化練習、県大会等、総合的に勘案し、選手を選考。	
選考の内容	①9月上旬開催の定期役員会(理事会)で監督1名、選手25名(ふるさと選手を含む)を前年度監督の助言で選定・承認。 ②10月上旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③12月中旬開催の臨時役員会(理事会)で本国スポ(冬季国スポ)の監督1名、選手16名を選定・承認。	
その他	参加者は日本アイスホッケー連盟への当該年度の登録を完了していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アイスホッケー連盟
	担当者名	淵上 栄

## 39 佐賀県ゴルフ協会

項 目		内 容
選考方法		毎年、連休最終日(学生が参加出来る様に)に県内15クラブの持ち回りにて国スポ・マスターズ選考会を開催
選考基準		18ホールストロークプレーにて、上位3名を代表選手と選考
選考の内容		2月より、要項を掲示して県内15クラブで受付。一か月前に申し込みを締め切り、組み合わせ・ローカルルール等協会HPに公開。
問合せ先	名称	佐賀県ゴルフ協会
	担当者名	江頭 正次郎

## 40 佐賀県トライアスロン協会

項 目		内 容
選考方法		国スポ参加資格を満たしており国スポ出場の意志がある選手は、選考大会締め切りまでにエントリーし、基準を基に選考をおこなう。
選考基準		1. 天草宝島国際トライアスロン大会(エリート)で、佐賀県内上位選手 2. 7月31日時点で、NTTジャパンランキング 40位以上の選手
選考の内容		選考の結果、上位の者を選考する。出場選手枠に満たない場合は、佐賀県強化指定選手・認定記録会を参考に、佐賀県トライアスロン協会 強化委員会で審議し決定する。
問合せ先	名称	佐賀県トライアスロン協会
	担当者名	柿塚 晋也